

(短評) 『インドの奇跡』 R・C・バルガバ著

2026/1/10付 | 日本経済新聞 朝刊

■ 『インドの奇跡』 R・C・バルガバ著

世界で最も有望な自動車会社を挙げるなら、[トヨタ自動車](#)と[スズキ](#)のどちらにするかで悩む。前者はすでに世界で絶対的存在感と投資力を持ち、後者は今後最も伸びるであろうインドの市場で圧倒的な存在感を持つ。

著者はスズキの故鈴木修元社長と組んだインドの元官僚であり、同国最大の自動車会社（スズキと同国の合併）の会長だ。盟友鈴木氏とどんな苦労を経てここまで来たのかを克明に書いている。

将来を有望と読んだ鈴木氏の慧眼（けいがん）を知るのもいいし、インドの難しい商慣行、政治情勢を知るのもいい。だが、同国が今後中国を抜き、世界一の自動車市場になることを念頭に置きつつ、読むのを勧めする。（日本経済新聞出版・2640円）

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.